

『災害時等における電動車両及び給電装置の貸与に関する協力協定』について

弊社並びに三菱自動車工業(株)は、2月25日秋田市と『災害時等における電動車両及び給電装置の貸与に関する協力協定』(災害時協力協定)を締結しました。

災害時協力協定は、災害発生時に秋田市の要請により、非常用電源として活用できる電動車両と給電装置を秋田市に無償で貸与し、安心・安全な避難生活、災害復興に役立てていただくことを目的とした協力協定です。

今後も県内各市町村と災害時における協力体制の構築を進めてまいります。

【災害時協力協定締結日：2020年2月25日】



秋田市は25日、災害時のハ号では、停電した千葉真の老イブリードカーの貸与に関する人ホームに電気を供給した。協定を三菱自動車工業(本8台は普段、秋田三菱自動車・東京)、秋田三菱自動車販売(秋田市)の両社と締結した。市が車両を災害時に借り、避難所などの非常用電源として活用する。

貸与される車両は「アウトランダーPHEV」8台。動力源はガソリンと電気、電気のみでは約65分走行可能。車内で生み出した電気を家庭に送ることもでき、1家庭が使う10日分の電気が1台で供給できる。昨年9月の台風15

この日、市役所で協定締結式が行われ、穂積志市長と両社の代表が出席。穂積市長は「この日、市役所で協定締結する車両を借りられるのはありがたい」とあいさつ。三菱自

「災害時でも電気を供給できる車両を借りられるのはありがたい」と述べた。(石塚佳治)

災害時、ハイブリッド車貸与

三菱自と秋田市協定 非常用電源に活用



発行所 秋田魁新報社 〒010-8601 秋田市工業団地1番1号 ©秋田魁新報社 2020年

2020年(令和2年)

2月26日

(水曜日)



災害時 秋田市に貸与される「アウトランダーPHEV」

自動車工業の竹中秀記国内地区統括部長は「全国でさまざまな災害が発生している。ハイブリッドカーで被災地の皆さんを支えたい」、秋田三菱自動車販売の佐藤功社長は「社会貢